

松戸運動公園他8スポーツ施設指定管理者事業計画書(簡易版)

(a) 運営計画

①運営における理念

松戸運動公園は、松戸市を代表する基幹運動公園として生涯スポーツ活動を通じた市民交流の場としての役割と各種競技大会等が開催できることを基本構想として計画建設された施設であり、松戸三体育館(柿ノ木台公園体育館・小金原体育館・常盤平体育館)は地域に密着した身近なスポーツ活動の場として重要な役割を担っています。

これまで全国で指定管理者として蓄積した管理運営ノウハウと現指定管理者としての地域ネットワークを最大限生かした施設運営に取り組み、「当該施設の効率的な一体管理の実現」「施設の設置目的の実現」「市民ニーズの実現」を目指し、運営理念を以下のように定めました。

運営理念:「したい」「見たい」何でもできるスポーツ都市 MATSUDO

②運営方針【管理運営における8つの方針】

方針① スポーツや健康づくりの中核施設としての役割を果たします。

本施設を「市民のスポーツ・レクリエーションと健康づくりの拠点施設」と位置づけ、各管理施設を有効活用するため一体的に活用し、利用者の目的や特性に応じて誰もが快適にスポーツや健康づくり活動に取り組めるよう、5つのスポーツ活動を支援し、施設の設置目的を効果的に達成します。

【5つのスポーツ活動】	「する」……活動の場の提供
「みる」……観覧する場の提供	「ささえる」…情報発信、人材育成
「まなぶ」…学習の場の提供	「きわめる」…スポーツ振興支援

方針② あらゆる方に平等で公平性のある施設運営を目指します。

- 利用システムへの苦情件数ゼロ……特定の団体が便益を得ることのない運営
- ハードルを感じにくい仕組みづくり…障がい者、高齢者の利用障壁をつくらない

方針③ 安全性を最優先に、いつまでも安心な施設を提供します。

- 期間内の重大な事故発生ゼロ
- 設備トラブルによる終日停止ゼロ

日常点検による施設や備品等の安全確保、見通しの良い空間の創出による犯罪が発生しにくい環境の整備、適切な水質や設備の管理等により、安全安心に利用できる施設環境を整えます。

方針④ 地域との連携・協働を推進し 人・まちを「イキイキ」と

- 全スタッフのうち市内在住者割合…90%目標
- 地域連携を図るイベント開催………年2回以上開催

方針⑤ 施設の有効活用・利用促進と増収を両立させます。

■施設の年間利用者数……100万人以上

■施設の年間収入……1億円以上

方針⑥ 費用対効果を重視した運営による「持続可能な」施設

■省エネ施策による使用量減…各種マイナス10%

■人件費の効率化……マルチジョブシステムによる人件費の効率化

方針⑦ 環境に配慮した「地域共生」を実現する運営を行います。

■積極的な環境啓蒙活動……年2回(廃棄物の適正分別・環境負荷低減への取り組み)

■SDGs イベントの開催……年1回(環境を意識できる教育活動)

方針⑧ 情報公開を自ら積極的に行い、開かれた「運営」を目指します。

■運用情報の公開と明確な説明…HP 等で公開

■モニタリング評価……期間内:優良の獲得

③運営における自社の強み

■本件と類似案件の管理運営実績を有しており、業務水準の達成が十分に担保できる

■施設管理全般を一括対応できる能力と実績を有する(全国における類似実績等)

■地域に根差した組織であり、地元雇用の促進、地元企業との連携が既に構築されている

■一体的な施設管理により、指揮命令系統が簡素化し、災害時・緊急時の対応が迅速である

■継続運営により、更なるサービス水準の向上と維持が実現できる

■競技種目の利用調整を行い、限られた施設の有効活用を図ることができる

④市民の利用を促進するための具体的な取組み

■一人ひとりに届く広報活動、有益な情報提供…ターゲット別の広報ツールの活用

■いつ来てもスポーツが楽しめる環境づくり……初心者の方への丁寧な案内、豊富な教室展開等

■施設をもっとアクセシビリティ豊富な施設に…施設の適正管理、アーバンスポーツ施設の整備

⑤施設設備の維持管理計画(修繕・保守点検・備品・清掃等)

1. 安全を最優先にした維持管理を実施します 2. 多方面からのサポート体制を整えます

3. 効率的な維持管理を実現します

4. 施設の快適性・機能性向上を実現します

5. 長期耐用化・長寿命化を図れる維持管理を行います

■松戸市の仕様、及び各種法令・規則に沿った保守点検、法定検査を実施します。

■委託業者は市内業者より選定することを原則とします(メーカー等の特殊なものは除く)。

■設備機器における故障等の発生を未然にふせぐため、予防保全を基本とした計画を作成します。

■スタッフによる巡回を定期的に行い、異常個所の発見時には迅速に対応を行います。

⑥運営の公平性・安定性

施設の設置目的・役割を十分に認識し「条例・同施行規則」等の関係法令に基づいた管理運営、利用許可業務を行い、正当な理由がない限り(信条・性別・年齢・職業・社会的身分等)施設の利用を拒否・制限することはいたしません。

サービスを受けるべき方の多様性に配慮したアクセシビリティ(利用のしやすさ・サービスに到達する手段)の整備に努めてまいります(大きく簡潔な案内表示・教室の申込手段を複数用意する等)。

スタッフ採用時の教育研修時よりスタッフへ「すべての利用者へ偏りのない公平な対応」について、十分に教育を行い、公平利用確保に配慮します。

⑦関係法令の遵守の取り組み(個人情報の保護に対する対応など)

■個人情報取り扱いについての研修を全スタッフに対して実施(年2回)。規則に沿って個人情報の取り扱いができているかを本部による確認を行います(年2回)。

■労働関連法令にかなう労働環境の整備をします。(本部のコンプライアンス確認巡回の実施)

⑧市民満足度向上への取り組み(自主事業など)

「スポーツ振興・健康づくり」「いきがいづくり」「きづなづくり」の 3 つのテーマにフォーカスした事業を(一般利用者への影響に配慮した)現実的な計画で展開していきます。

私たちは、自主事業を利潤追求事業ではない CSR(社会的責任)活動と位置付けており、あくまで利用者の増加や、市民サービス向上の手段であると認識しています。

スポーツ教室の実施に際しては一般利用者への影響が最小限となるように留意し、一般利用者に優先して事業の実施枠を確保することはしません。当グループが既に把握している施設利用実績(混雑状況)に基づき、比較的用户の少ない時間帯に事業を実施する、現実的なカリキュラムを作成しています。

⑨管理経費縮減への取り組み

指定管理者制度の狙いであるコスト削減、利用者サービス向上、新たなビジネスチャンスといういわゆるトリプル WIN を達成することが、新しい公共の役割であると当グループは充分理解しております。安易で低廉な経費縮減ではなく、(新たなサービス等かかる部分にはそれ相応の経費を見積もるなど)高品質を担保した経費縮減を行います。

■マルチジョブシステム・・・各人が施設運営に関わる様々な業務に対応し業務効率を高めることで、ゼネラリストの育成が可能となると同時に、余分な管理コスト(人件費)を削減します(特殊な有資格者が必要な業務を除く)

■省エネルギー対策(運用改善型・設備投資型)を実施します。

■DX(デジタルトランスフォーメーション)化を推進します(ネット広告・勤怠管理システム等)。

⑩駐車場の混雑時の対応

■ソフト面での対応

各団体へ大会打合せの際、交通機関の利用、乗り合わせの依頼を行います。駐車場対応巡回スタッフによる監視、丁寧なお声掛けを行います。第二(臨時)駐車場へのご案内を分かりやすく行います。公園庭球場については利用団体への協力要請及び職員巡回の対応を行います。

■ハード面での対応

混雑状況を WEB で配信し、事前把握できる機会を増やします。駐車禁止帯へコーン等を設置し、不正駐車を抑止します(事故の未然防止)。ラインの薄いところは再整備を行い、駐車可能エリアを明確にします。

(b)運営体制と組織

①運営組織

施設の運営維持管理業務を簡素化させ、効率的な施設運営ができる体制を整えました。また Value for Money(VFM)の最大化を実現するために仕様水準を担保したうえで、シンコースポーツ株式が代表企業を務め、構成団体の(一財)松戸市スポーツ協会は維持管理業務全般を担当する計画といたします。また市内に業務実績を有する市内事業者と確かなパートナーシップのもと当該事業の運用に取り組み、松戸運動公園他スポーツ施設の施設機能を最大化することを約束します。

②必要人材の配置と機能

■配置候補者(総括責任者・副総括責任者・施設責任者)

配置候補者は本施設の現責任者として従事する職員を引き続き選任します。

■配置職員

松戸運動公園に総括責任者1名、武道館受付2名、体育館受付1名、トレーニング室1名、陸上競技場・野球場2名、栗ヶ沢公園庭球場1名、柿ノ木台公園体育館3名、小金原体育館2名、常盤平体育館2名の15名体制にて運営に取り組みます。

プール期間には18名(2施設)、繁忙時巡回員の増員(2名)を行い、最大35名の体制にて業務を実施してまいります。

③雇用条件

■採用担当者による採用水準の担保

応募者の採用は、面接審査にて行います。労働基準法等の法令、社内就業規則等を基に、松戸運動公園他8スポーツ施設の特性を考慮した採用基準を設定します。「人材採用担当者」を定め、募集・選定・採用まで一括して行うことで、採用基準の統一化が図れ、一定水準以上が保たれます。

■市内在住者の雇用

市内在住者を多く雇用することは、指定管理者の事業運営上、多くのメリットを享受することになります。従事施設や仕事に対する「愛着」が生まれることや、受付窓口での道案内や市内の情報発信が容易にできるだけでなく、緊急事態発生時にもロスのない対応が期待できます。

地域密着型の魅力と公共施設の安定性を最大限にアピールし、市内雇用率90%を目標とした運営体制を構築し、地域に愛される施設づくりに努めます。

■採用スタッフへの研修体制

入社時の各研修(教養・部門・緊急時)及びフォローアップ研修(資格取得・交流研修)を行います。

(c)危機管理に対する方策(緊急・防犯・防災など)

災害や犯罪から地域の方を守るため、本施設の安全対策における考え方として「千葉県地域防災計画」・「松戸市地域防災計画・同防災マップ」、「県防犯のまちづくり推進計画」等の計画を踏まえ「松戸運動公園安全管理マニュアル」をはじめ、各施設のマニュアルを策定・運用に取り組みます。

緊急時には、安全管理マニュアルに基づき迅速且つ適確に発生後の情報収集を行い、それらを基に判断と指揮を実行できる危機管理体制及び連絡体制を確立します。

緊急時に備えるために平常時から「安全管理マニュアル」に従って、災害予防策の検討や防災関連施設の点検・準備を行うとともに、定期的な防災訓練(年2回程度)の実施により緊急時におけるスタッフの対応能力向上に努めます。

(d)その他自由提案

■防犯カメラの設置

現在、防犯カメラは武道館内事務所に警備会社が設置しているカメラ、当グループが設置した金庫監視カメラの2種類しかなく、防犯力が決して高い状況とは言えない現状です。当グループは、各施設館内において死角がなくなるように防犯カメラを設置します。

防犯カメラを設置することで、建物内の死角がなくなり、すべてに目を向けることが可能になります。不審者の行動パターンとして、人目に付かない場所、人通りが少ない場所を狙って犯行に及ぶケースが多く、死角を無くすことは必要不可欠になってきます。

■スケートボード場の利便性向上

現状のセクション配置でも問題ないと思いますが、これからスケートボードを始めようと考えている方々にとっては難易度が高いセクション配置になっていると考えます。当グループは、初心者から上級者までが楽しめるスケートボード場を目指すため、スロープなどの「バンク」を新たに設置いたします。バンクを設置することで、初心者の方でもスケートボードの魅力や楽しさが味わえる場所になると考えています。